

## 第6回 由良川流域治水協議会 議事概要

開催日時：令和5年5月30日（火）13：30～14：30

開催場所：あやべ・日東精工アリーナ（1F 研修室） ※出席者の一部はWeb会議システムによる参加

### I 議事次第

- (1) 規約の変更について
- (2) 由良川水系流域治水プロジェクトについて
- (3) 今後のスケジュールについて

#### (出席者)

福知山市 大橋市長（代理：前川副市長）  
舞鶴市 鴨田市長（代理：福田参事）  
綾部市 山崎市長（代理：山崎副市長）  
宮津市 城崎市長  
南丹市 西村市長（代理：山内副市長）  
京丹波町 畠中町長（代理：堀主幹）  
丹波篠山市 酒井市長（代理：地域整備課 中川係長）（Web参加）  
丹波市 林市長（代理：河川整備課 加賀山副課長）（Web参加）  
京都府 建設交通部 小長井理事  
農林水産省 近畿農政局 農村振興部 吉田対策官（Web参加）  
林野庁 京都大阪森林管理事務所 氏橋所長（Web参加）  
気象庁 京都地方气象台 金田台長  
気象庁 神戸地方气象台 佐伯台長（Web参加）  
環境省 近畿地方環境事務所 環境対策課 福嶋課長（代理：米田専門官）（Web参加）  
国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林整備センター近畿北陸整備局 松林局長  
国土交通省 近畿地方整備局 福知山河川国道事務所 犬丸所長  
関西電力株式会社 再生可能エネルギー事業本部 京都水力センター 掛谷所長

#### (配布資料)

次第、出席者名簿、配席図

- 資料1 気候変動のスピードに対応した新たな水災害対策  
資料2 協議会規約  
資料3 由良川水系流域治水プロジェクト【2023年5月版】案  
資料4 由良川水系流域治水プロジェクト＜個別事例＞  
資料5 グリーンインフラ＜個別事例＞  
資料6 今後のスケジュール  
参考資料1 幹事会の結果概要  
参考資料2 気象変動適応における広域アクションプラン

## II 議事概要（○：出席者発言、●：事務局発言）

### ■規約の変更について

●福知山河川国道事務所の組織名称の変更について協議会の了承を得た。規約は令和5年5月30日に改正とする。

### ■流域治水プロジェクトの各機関の取組状況について

#### ○福知山市

国・府と連携して大江町河守・公庄地区の内水被害軽減対策を進めており、市では公手川の改修、調節池、排水ポンプの整備を行っている。昨年度に $1\text{m}^3/\text{s}$ のポンプ整備を行い、今年度の出水期から更に $2\text{m}^3/\text{s}$ 追加し、これにより平成29年台風21号と同程度の雨に対して、概ね床上浸水の解消が見込めるようになった。

#### ○舞鶴市

輪中堤整備完了地域では、外水による浸水からは守られるようになったが、平成30年7月豪雨時には内水による浸水が発生し、志高地区では最大浸水深が約1.9mとなり、多くの家屋で床上・床下浸水被害を受けた。今年度から、地域住民と協議し、効果的で経済的な内水被害軽減に向けたハード対策の検討を行っていきたいと考えている。

舞鶴市総合モニタリング情報配信システムとして、国や京都府の河川水位の公開情報を1つに集約して、令和3年度以降、WEBでの公開、情報発信をしているほか、避難情報の発令地域を地図上で表示できる改良を行っている。今後、避難情報の発令判断をより適切なタイミングで行えるよう、内閣府・京都府の予測システムと連携しながら機能アップを図り、ニーズに合ったソフト対策を進めていきたいと考えている。

#### ○綾部市

平成25年9月台風18号及び平成29年10月台風21号で、古川樋門閉鎖時に市街地で浸水被害を受けたことを契機に、内水氾濫対策として綾部排水ポンプ場 $1.0\text{m}^3/\text{s}$ を建設し、昨年4月から稼働を開始した。

令和3年度、4年度において、市内の全地区を対象にハザードマップの更新・全戸配布を実施した。今後は出前講座など様々な機会を通じて、災害の危険性を周知するとともに、ハザードマップを活用して地域での水害等の避難行動タイムラインを作成し、逃げ遅れゼロを目指したい。

#### ○宮津市

要配慮者利用施設の避難確保計画作成の推進について、令和4年度までに全要配慮者利用施設37施設の計画が作成された。今後は、避難の実効性の確保に向け、避難確保計画に基づく避難訓練等の実施を図っていただくよう、依頼・支援を実施していく。

令和3年度には洪水・土砂災害等のハザードマップを作成・各戸配布を行なった。このハザードマップ等を活用してマップ型の地区防災計画を作成してもらっており、地域の災害リスクの認識や正しい避難行動の意識醸成に向け、講座等を開催し、地区防災計画の作成を推進していく。

#### ○京都府

水位周知河川以外の河川についても洪水浸水想定区域図を作成・公表しており、昨年度、由良川流域内 125 河川を含むすべての府管理の 377 河川について公表が完了した。引き続き、ハザードマップや要配慮者避難確保計画等の警戒避難体制の構築を支援していかなければと考えている。

早期の避難を実現するために、6 時間先までの河川水位や氾濫区域を予測し、市町村に提供するシステムを構築しており、6 月 1 日から市町村や气象台に配信を開始する。

#### ○林野庁

由良川流域には国有林等が約 4,200ha あり、その約 6 割を占める人工林の多くが利用期を迎えるという状況にあるため、森林資源を有効に活用しながら計画的に再造成をしていき、それに合わせて多面的機能を発揮させていくといった施業が必要になってきている。このような状況を踏まえて、森林の現況や地理的条件、国民のニーズ等を踏まえて、適正な施業方法を選択し、計画的な森林の整備・保全を進めながら、次世代の望ましい森林の姿を目指している。

#### ○環境省

昨年度は、ゲリラ豪雨対策分科会にて検討を重ねた自治体において実施すべきゲリラ豪雨対策を、広域アクションプランにとりまとめ、国立環境研究所が管理している気候変動適応情報プラットフォームにおいて公開している。令和 5 年度以降については、ゲリラ豪雨対策（フォローアップ）分科会を継続開催し、広域アクションプランに記載された内容に基づきゲリラ豪雨対策の一部について実例などを創出し、情報共有する。

#### ○森林整備センター

水源林造成事業においては、分収造林契約方式で森林の造成を行っている。由良川流域においては、約 250 箇所、6,600ha の水源造林地や水源造成事業地があり、令和 4 年度にはこれらの事業地の中で約 500ha の森林整備を行っている。内訳は、新植 19ha、改植 3ha、保育事業約 500ha で、保育事業のうち間伐事業については約 100ha の森林整備を行っている。

#### ○福知山河川国道事務所

福知山市と一緒にマスプロダクツ型排水ポンプ整備を進めている。エンジンは市販車のもので、値段も安く、部品も汎用性があり、整備性もよいので、実証試験でちゃんと動くかどうかを確認しているところである。去年はポンプを設置する架台を作成し、今年度はポンプを設置する架台の据え付けを実施する予定である。

多段階の浸水想定図は、小さな規模の洪水でも溢水や破堤により浸水する区域を示したものである。水害リスクマップは浸水深が 50 cm 以上になる区域について、その頻度（よく浸水する箇所、滅多に浸水しない箇所）を色分けしたものである。市町が立地適正化計画等を考える場合に、危険な箇所を知ってもらい、家を建てる場合にどう考えるのかの参考にしてもらうため、この 2 つを作成した。

#### ○関西電力株式会社

令和3年3月に和知ダム操作規定の変更手続きを行い、基準降雨量に達すれば直ちに実施するというので、昨年度は準備をしていた。2022年9月18日から19日にかけて、台風14号により京都北部において、24時間で100～200mmという予測雨量が出たことを受けて、事前放流の実施を決定した。予備放流水位になるまで80cm下げ、約40万m<sup>3</sup>を放流するということがあったが、実際の降雨は予測ほどは大きくはならなく終わった。今後も、基準に入る時には、しっかりと治水協力をしたいと考えている。

#### ■流域治水プロジェクトのグリーンインフラにおける各機関の取組状況について

##### ○綾部市

上林川を中心に活動する市民団体の「上林川を美しくする会」は、奥上林・中上林・口上林の3地域でヨシ刈りを毎年行っている。今年度から「上林川を守る会」に名称変更し、年3回のヨシ刈りを行っており、こうした取り組みが評価され、関係団体から表彰を受賞している。綾部市でも、このような取り組みを通じて景観保全、水質浄化を図るとともに、川の大切さの啓発に努めていきたいと考えている。

##### ○宮津市

由良川河口部に位置する宮津市由良地区の由良川自治連合会では、毎年6月下中に由良川沿岸の清掃に取り組んでいる。由良海岸でも地元自治会が定期的に清掃活動を実施している。由良川流域の各関係機関によるクリーン作戦等の環境活動が、下流の河口地域のごみ量の低減に繋がっており、今後ともご支援、ご協力をお願いしたい。

##### ○森林整備センター

由良川流域内の保育事業地約500haの森林整備において、間伐実施時には流木災害防止の観点から伐採された間伐材等を林外に積極的に搬出・販売して有効利用を図っている。加えて、水源涵養や土砂流出防止といった、森林の持つ公益的機能をより一層発揮させるために、新植時の針広混交林の造成や育成複層林誘導伐により、複数の樹冠層を有する育成複層林の造成を積極的に進めている。

##### ○福知山河川国道事務所

上流では、京都府立綾部高校の分析科学部の主催で「由良川クリーン作戦」として、市民参加型の清掃活動を支援した。去年は約300人が参加していたが、今年は更に増大し400名が参加した。また、上林川で地元の小中学生と一緒に水生生物調査を実施した。

#### ■今後のスケジュールについて

●流域治水プロジェクトについて今回確認し、流域全体のあらゆる関係者が協働し、ハード・ソフトの対策が一体となった事前防災対策を推進していく。今年度は、流域治水プロジェクトの深化ということで、気候変動を考慮した上で更なる施策の追加・強化を検討し、流域治水協議会（幹事会）等で実務の担当者と検討した上で、来年度の流域治水協議会に諮っていきたい。